

学習目標		
(1)創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。		
(2)基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。		
(3)様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。		
月	単元・題材名	学習内容
4	○にっぽんのうた みんなのうた ・つばさをください ・おぼろ月夜	・歌詞の内容を生かし、旋律の美しさを味わって表現する。
5	○音の重なりとひびき ・マルセリーノの歌	・声や楽器の響き合う美しさや楽しさを味わって表現する。 ・長調や短調の響きの変化を感じ取って表現したり聴いたりする。
6	・ハンガリー舞曲第5番 ・ロックマイソウル ・カノン	・旋律を組み合わせて声のひびき合いを楽しむ。 ・旋律の動きや重なりをきき合って演奏する。
7	○演奏のみりよく ・交響曲第5番「運命」第1楽章 ・語り合おう	・様々な演奏による音楽表現の違いを感じ取り、そのよさを味わって聴く。 ・歌詞の内容を味わい、曲想を生かした表現を工夫しながら、思いを生かして歌う。
9	・われは海の子 ○音楽のききどころ ・バイオリンとピアノのためのソナタ(第4楽章)	・情景を想像し、時の移ろいや自然の美しさを感じ取って表現する。 ・楽曲全体の曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く。 ・旋律の特徴と、役割や組み合わせが表している様子を思い浮かべて聴く。
10	○豊かな表現を求めて ・明日を信じて	・音楽の仕組みを生かし曲想を捉えて、楽曲に合った表現を工夫する。 ・パートの役割や、ほかのパートとの関わりを意識し、聴き合いながら演奏する。
11	・ス ワンダフル	・友達と一緒に表現する喜びを味わい、アンサンブルを楽しむ。
12	○私たちの国の音楽 ・春の海 ・越天楽今様	・日本の旋律の特徴を生かし、歌詞の表す情景を思い浮かべながら表現する。 ・箏や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。
1	○音楽に思いをこめて ・交響曲第9番「新世界」より 第4楽章	・作曲者の思いを想像しながら、楽曲を味わって聴く。
3	○心をこめて ・ふるさと ・さようなら ・別れの曲 ・君が代	・今までに習ったことを生かし、気持ちをこめて歌ったり、曲を味わったりする。 ・歌詞の内容を味わい、言葉を大切にしながら、楽曲に込められた思いを感じ取って歌う。
評価の観点		
【音楽への関心・意欲・態度】 創造的に音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。		
【音楽表現の創意工夫】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。		
【音楽表現の技能】 音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。		
【鑑賞の能力】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。		
評価の方法		
テスト 表現活動の様子 ワークシート 発表 課題への取り組み状況 演奏実技		